上北谷 笑楽好 だより No.7

チャレンジ通信

あかるく かしこく たくましく　令和8年10月1日発行



８月までの暑さが落ち着き、学校生活を送るには過ごしやすくなった一方で、雨が続き、予定していた行事や活動が思い通りにできなかった一か月でした。それでも、こどもたちは落ち着いて授業や諸活動に取り組んでおり、２学期もよいスタートダッシュを切れたと思っています。９月は、他校のこどもたちとも顔を合わせ、活動を共にする機会が多くありました。自分（たち）を見つめるよい機会にもなったと思います。自分（たち）のよさはさらに伸ばし、他に学ぶべきは見習うことで、一人一人が成長するとともに、より良い学校になるようがんばってほしいです。

創立記念集会～上北谷小学校の長い歴史の一員として～

９月 16 日は、上北谷小学校 152 回目の創立記念日です。当日は、創立記念集会を行い、こどもたちと 152 年という時の長さと凄さとともに、多くの人の力や思いの上に、歴史がつくられてきたことを確認しました。そして、残りの２年半で閉校となることにも触れ、「一人一人が上北谷小学校とこの地域のよさや魅力をたくさん見つけてほしい」「上北谷小学校の歴史の最後と、上北谷小学校に関わる全ての人が誇れる・自慢できる学校をつくってほしい」と伝えました。

稲刈り＆稲上げ・脱穀～米作りを通した学び～

雨の影響で、稲刈りは９月 11 日（金）に、稲上げ・脱穀は９月 28 日（月）に予定を変更して実施しました。農援隊、JA、そして、保護者の皆様のお力添えもあり、無事に全作業を終えることができました。







一生懸命に作業に取り組む、協力して活動するのはもちろん、稲刈りでは、ちごし保育園の園児にやさしく声を掛けたり、手を取ってやり方を教えたりする姿、稲上げや脱穀に向けての作業では、伝統のバケツリレー方式で手際よく作業を進める様子が見られました。こどもたちの成長を感じることができる大変貴重な機会でもありました。

見附市小学校親善体育大会～実り多い一日～

９月 25 日（金）に行われた親善体育大会に、５・６年生が参加しました。雨続きで、グラウンドや陸上競技場で思うように練習できませんでしたが、当日は少しでも記録を伸ばそう、順位を上げようと、全力で競技に臨み、ベストを尽くしました。閉会式では参加者を代表して■■■■さんが感想を発表しました。緊張の中でも堂々と発表する姿、仲間や大会運営者など様々な人たちへの感謝を含む内容、大変立派でした。チーム上北として一体感を高めるとともに、同じ市内の仲間から多くの刺激を受けた１日でした。

入賞者一覧　※　敬称略

男子走幅跳び	５位	■■　■■
男子 400mリレー	６位	■■■・■■・■■■・■■



他校との合同授業～陸上教室＆社会科校外学習～



９月２日（水）に、セキノ興産陸上部のコーチ・選手に来校いただき、陸上教室を実施しました。今年度は、見附第二小学校と合同で行い、腕ふりやスタートダッシュなど陸上競技の基本をゲーム要素を交え、楽しく学ぶことができました。練習後には、選手にインタビューをして、速く走るための秘訣や体つくりについてアドバイスをいただきました。



９月 30 日（水）に、４年生が名木野小学校と合同で、太田の刈谷田川遊水地見学を行い、私たちの生活や安全を守ろうとする人たちの存在や思い、水害への備え等について学びました。当日は、市議会議員の■■■様にお話を聞かせていただき、見附市の災害に対するまちづくりの考え方についても知ることができました。

畑じまい～大地への感謝と来年への期待を込めて～

９月 10 日（木）に、大地への感謝の思いと来年度も豊作の願いを込め、畑じまい作業を行いました。土づくりや水やりなど一人一人のがんばりと大地の恵みで、たくさんの収穫がありました。早くも「来年はスイカにしようか。メロンにしようか」という声も。来年度の栽培活動がどのように進化するか、今から楽しみです。

10月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	木	全校朝会、科学研究発表会	17	土	
2	金	学校保健委員会（５・６年）	18	日	
3	土		19	月	昔語り
4	日		20	火	
5	月	校内駅伝大会	21	水	
6	火	校内駅伝大会（予備日）、諸経費口座振替日	22	木	
7	水		23	金	防災スクール
8	木	修学旅行（４～６年） １日目	24	土	
9	金	修学旅行（４～６年） ２日目	25	日	
10	土		26	月	食育指導（２・５・６年）
11	日		27	火	堆肥作り、読み聞かせ（２・４年）、歯科検診
12	月	スポーツの日	28	水	堆肥作り（予備日）、小児予防検診事後指導（4年）
13	火		29	木	
14	水	芋ほり（２・４年）	30	金	スクールカウンセラー来校日、委員会
15	木	ふたば朝会、芋ほり（予備日）	31	土	
16	金	クラブ			





日々の学校の様子を、ホームページで紹介しています。下の二次元コードからアクセスできますので、ぜひ御覧ください。

令和8年度　前期　上北谷　笑楽好

学校評価だより

あかるく　かしこく　たくましく　　令和8年10月1日発行

令和8年度「1学期学校評価」の結果



1学期の教育活動を、児童・保護者アンケート等をもとに、三つの重点目標「ゆたかな心の育成」「確かな学力の育成」「健康でたくましい心身の育成」から評価し、成果と課題を明らかにするとともに、2学期以降の改善策や取組を検討しました。9月17日（木）に上北style（学校運営協議会）で、熟議・承認いただきましたのでお知らせします。

2学期以降も、保護者や地域の皆様との連携・協働の下、“上北谷ならでは”の教育活動の推進・充実を図りながら、教育目標にある「あかるく、かしこく、たくましい人」の育成を目指してまいりますので、一層のお力添えをお願いいたします。

「ゆたかな心の育成」について

成果目標	「自他のよさを大切にし、思いやりのある行動をとる子」を全員にする。	評　価
評価基準	A：14人以上、B：12人以上、C：11人以下	C (11.6)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・あなたには、いいところがあると思いますか。	9
・友達と学習したり、活動したりする中で、友達のよいところを見つけることができましたか。	12
・友達と協力し、仲良く活動していますか。	14

成果目標	「よいと思うことを自ら考え、進んで行動する子」を全員にする。	評　価
評価基準	A：14人以上、B：12人以上、C：11人以下	B (12.0)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・みんなのために、掃除や当番などの仕事に自分から進んで取り組んでいますか。	11
・友達や先生、お客さんなどに進んであいさつをしていますか。	13

分析（○）及び今後の取組（●）

①　スターカードの取組は十分とは言えず、取組が形骸化しているのではないか。
②　学年が上がるだけでなく、学級の中で上下関係が生じてしまう複式学級の難しさがあるのではないか。
③　あいさつを自分から進んでする子としない子が二分化している。「自分からあいさつしよう」という意識が深まらなかったのではないか。

❶　スターカードの書き方について今一度全校に呼び掛け、積極的に全校で共有を図る。各月の生活のめあてが変わる1週前までに一人一枚は書く。友達の素敵な言動に対しての感謝やそのとき思ったことなどを書くことで、自他のよさを大切にできるための取組となるよう促す。

❷　親和的な学級集団の形成を目指して、各学級でグループワーク・トレーニングを継続的に実施する。また、学年関係なくかかわることのできる集団づくりを目指し、学年の枠を超え、行う機会も設ける。

❸　職員とこども（元気アップ委員会）で、あいさつ運動を進める。8・9月の生活のめあてに合わせて9月中に実施する。元気アップ委員や職員に自分からあいさつしたこどもにシールを渡し、元気アップ委員会が作成したポスターにシールを貼り、絵を完成させるなどの活動を通して、校内のあいさつを盛り上げる。

「確かな学力の育成」について

成果目標	「自分の考えをもって、学習する子」を全員にする。	評　価
		C
評価基準	A：14 人以上、B：12 人以上、C：11 人以下	(11.0)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・自分で答えを出したり、分かるようになったりするために、一生懸命考えましたか。	12
・自分の考えを話したり書いたりできましたか。	10

成果目標	「先生や友達の話を聞き、分かろうとする子」を 80%以上にする。	評　価
		B
評価基準	A：12 人以上、B：10 人以上、C： 9 人以下	(11.0)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・人の話を聞いて、質問したりうなずいたりするなどして、分かろうとしていますか。	11
・「学びのパワーアップ大作戦」に気を付けて学習できましたか。	11

分析（○）及び今後の取組（●）

① 「書く」場面の設定が少なかったことや、「自分の考えをもつ」に対する意識が高まらなかったので、自信をもって回答できなかったのではないか。また、教師の意識も十分でなく、徹底できなかった。
② こどもたちは、「学びのパワーアップ作戦」や学級での振り返りの時間を使って聞き方について意識していた。
③ 「分かろうとして聞く」とはどういうことかを、具体的にイメージできていないのではないか。
❶ 国語と算数の授業で、振り返りや自分の考えを書き表す場面を多く設定し、習慣化させる。また、他の教科等でも振り返りの時間を意図的に設けるようにする。
❷ 帰りの会等でその日の姿勢や「学びのパワーアップ作戦」で立てた目標を振り返る時間を設定する。
❸ 「分かろうとして聞く」について、児童と話し合い、聞き方の具体像を示しながら指導する。「うなずく」「質問する」「体を向ける」等の具体的な姿を指導する。

「健康でたくましい心身の育成」について

成果目標	「目標をもち、体力づくりに励む子」を全員にする。	評　価
		B
評価基準	A：14 人以上、B：12 人以上、C：11 人以下	(13.0)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・体育授業やチャレンジタイムで、自分ができることを増やしたり、よりよくできるようにしたりするために、積極的に体を動かしていますか。	13

成果目標	「健康的な生活習慣を身につけようとする子」を全員にする。	評　価
		C
評価基準	A：12 人以上、B：10 人以上、C： 9 人以下	(9.5)

児童対象アンケート質問項目	肯定的回答数
・学校で、うがい・手洗い・歯みがきを忘れずにしていますか。	8
・授業中や給食の時間に、姿勢に気を付けていますか。	10

分析（○）及び今後の取組（●）

① 肯定的評価がほぼ全員だった。体育授業の中で、児童が「少しがんばれば届きそう」と感じられる目標設定をできるようする。
② 運動が苦手で前向きになれない子に対し、個別指導や励ましが必要だった。
③ うがい・手洗い・歯みがきに対する意識が低い。これらを他の人がしていないと「汚い」と感じるが、自分がしないことには困り感がないのではないか。
❶ 全校体育で低学年から高学年までの技能の伸びの見通しがもてるように、毎単元で学習カードを用いて「少しがんばれば届きそう」な目標設定ができるようにする。
❷ 全校体育を複数の職員で行い、個別指導の充実とともに技能の伸びや目標への前向きな取組を称賛することで、意欲の向上を図る。
❸ お知らせ委員会の取組として、特にうがい・手洗いの励行を呼び掛ける。各学級では、学級担任が児童に自らの行動を振り返らせ、ハンカチ等の携行と併せて声掛けを続ける。